

# 令和5年度 自己評価（教職員）

函館大妻高等学校

令和6年2月6日（火）～令和6年2月9日（金）実施

4：十分に達成している（適切である） 3：概ね達成している（概ね適切である）

2：不十分である（やや適切ではない） 1：改善を要する（適切ではない）

※以下枠内の評価項目に対し、「自己評価」欄に、上記4～1で評価をお願い致します。

分野 領域	評価項目	自己 評価	ご意見がございましたら、ご記入お願い致します。
学 校 運 営	教育目標や重点目標が、生徒の実態や保護者・地域社会の 願いを踏まえた内容になっていると思いますか。	3. 4	
	建学の精神や学校経営方針が、教職員に理解されていると 思いますか。	3. 3	
	中学校訪問を実施するなど定員を確保し、安定した教育環 境づくりを心掛けていると思いますか。	3. 2	
	特色ある教育活動、学校づくりを進めていると思いますか。	3. 5	
教 学 育 習 課 指 程 導	学科・コースの特性を生かした教育課程を編成している と思いますか。	3. 5	
	生徒に寄り添い、生徒の実態に即した分かりやすい授業を 実践していると思いますか。	3. 4	
	生徒による授業評価を参考に、授業力向上に向けて工夫を 加えていると思いますか。	3. 4	
	生徒の資格取得や技術の習得に向けて努めていると思いま すか。	3. 5	
生 徒 指 導	服装・頭髪・身だしなみ、遅刻・欠席、挨拶などの基本的 生活習慣の育成を図っていると思いますか。	3. 4	
	報告・連絡・相談など教職員間で連携を取り、協同の下、 問題行動への適切な対応ができていると思いますか。	3. 2	
	安心・安全・居場所のある学校環境づくりを目指し、いじ めや非行防止に努めていると思いますか。	3. 5	
	講習会等も活用し、SNSの適切な使用についての指導を継 続していると思いますか。	3. 3	

進路指導	外部講師による進路選択のためのガイダンスなどが、効果的に機能していると思いますか。	3. 8	
	進路に関する情報を適切に提供し、決定は保護者と連携して適切に指導していると思いますか。	3. 7	
	講習や模擬試験、面接練習など、進路実現に向けた指導・支援が積極的に行っていると思いますか。	3. 8	
	本校の進路指導は、満足できる成果が上がっていると思いますか。	3. 6	
健全指導	感染症対策として体調不良者への迅速な対応や手洗いの励行、学校環境衛生の維持など、指導・点検を行っていると思いますか。	3. 6	
	性教育や薬物乱用防止教室等を通して、生徒の健康面に配慮した適切な指導が行われていると思いますか。	3. 7	
	抱える悩みや困りごとに、教員やカウンセラーが相談に応じる体制を整えていると思いますか。	3. 6	
	災害時・非常時の避難方法や心構え、連絡方法を周知していると思いますか。	3. 4	
特別活動	学校行事の内容・実施時数及び事前指導・事後の評価等が適切になされていると思いますか。	3. 7	
	学校行事は生徒にとって有意義なものになっていると思いますか。	3. 6	
	生徒会行事、部活動等が活性化されていると思いますか。	3. 2	
地域連携	地域を担う人材の育成を積極的に行っていると思いますか。	3. 3	
	清掃活動や福祉施設等へのボランティア情報を提供して、地域活動への参加を促していると思いますか。	3. 3	
その他	就学支援金のしくみや奨学金、授業料軽減制度の案内は、きちんと周知されていると思いますか。	3. 5	
	オープンスクール・体験入学の実施やホームページの活用は、外部への効果的な情報発信になっていると思いますか。	3. 2	

評価者氏名

---

## 令和5年度 学校関係者評価

函館大妻高等学校

日 時 令和6年2月19日(月) 13:30～  
場 所 本校会議室  
学校関係者 佐々木香 (PTA 会長)  
平田優子 (同窓会長)  
佐々木茂 (公益財団法人函館市文化・スポーツ振興財団理事長)  
葛西宣彰 (有限会社ウィズ代表取締役)  
信夫恵美子 (本校教育支援カウンセラー)

### 《学校運営・その他》

学校の良さを外部に発信するアピール力が弱い気がする。100周年行事も終了したことから、今まで通りの継続ではなく、学校案内冊子やホームページを刷新するなど思い切って進めたい。また、生徒募集の担当として、若い人に企画・立案させるなど、抜本的に変えていく必要がある。

### 《学習指導・生徒指導》

教師の言語環境を見直していく必要がある。教師の一言によって、生徒のその後に与える影響があることも十分に考えて行動することが大切である。ふれ合いと慣れ合いを勘違いせずに、学校にいる間は常に意識してほしい。

### 《生徒指導・安全指導》

生徒指導は生徒指導部だけの問題ではない。教職員全員で行うことが重要である。そのためには教職員間の連携を密に取り、生徒が抱える問題事案を迅速に把握し、対応できるように期待したい。

また、転学が目立ってきているので、そうならないための対応策が必要である。

### 《進路指導》

卒業後の進学者が増えてきているのは、ガイダンスや情報提供など、丁寧な進路指導を継続的に行ってきた結果である。生徒はもちろんのこと、ご家族の心構えに対しても、3年をかけた早くからの準備の必要性を、少しずつ行ってきたものと評価している。

### 《特別活動》

中学校での部活動の練習時間は決まっている。練習内容や練習時間に関して、特に特待生であるが、生徒と学校の捉え方にギャップがあるように感じる。納得できるように説明していく必要がある。

また、部活動に勢いが不足している。練習環境を整え、今よりも更に成績が上がるよう期待する。